

「2024冬休みわくわく算数教室」まとめ ～SPさんと子どもたちの感想～

12月27日（金）、冬のわく算最終日でした。冬休み前にインフルエンザが大流行を迎え、ちらほら体調不良による欠席はあったものの、多くの子どもたちが“元気に”・“笑顔で”登校していきました。この事実は、子どもたちがこの「わくわく算数教室」を心から楽しみにしているということ、保護者の方からの信頼が厚いことが一番の理由かと思います。（冬休みが始まったばかりにも関わらず、子どもたちが笑顔で教室に入ってきます。この姿には毎回驚かされます。それを笑顔で迎え、受け止めてくれるSPさんたちに感謝です！）今までのSPさんが、子どもたちと保護者への“信頼関係”を作ってくれました。そして、新型コロナウイルスを経験したSPさんだからこそ、それぞれ必要な感染対策を考えながら活動ができたのだと思います。大変な時期を過ごした経験が生きているなあと感じました。

開催した4日間を通して、子どもたちの笑顔、SPさんの笑顔、そして一生懸命勉強する子どもたちの“真顔”が溢れるわく算でした。“例年通り”ができるのがSPさんの、わく算の凄さです。また、年々少なくなる大学の冬休み。そんな中でもこうして『子どもたちのために』『先生になるために』と片葩小に来てくれる志の高いSPさんのおかげで、わく算を開催できています。エネルギーと優しさが溢れるSPさんのおかげで、子どもたちは毎回とても楽しい時間を過ごすことができます。中には、このわく算を経験して「算数が好きになった」という子どもたちもいます。SPさんの中にも、「教師になりたいとより強く思うようになりました」と話してくれる人もいます。まさに、win-winの活動です。参加して下さったSPさん、ありがとうございました。

SPさんの感想と子どもたちの感想を拝見しました。良い学び、嬉しい感想をみなさんにもお届けしたいと思います。ぜひご一読ください。



児童の感想

<1年生>

- 割り算や掛け算（九九）がすごく楽しかったです。また来ます！
- 今日は、プリントを8枚やってめちゃくちゃ疲れました。楽しかったです。

<2年生>

- ここに来てすごく楽しかったです。勉強ができてよかったです。
- 初めてのわくわく算数教室だったのでドキドキしました。でも、プリントを9枚もできて、たくさん勉強して、賢くなったと思います。すごく楽しかったです。

<3年生>

- 先生に分からないところや知らないところを教えてもらった。小数もいろいろ解けて、楽しかった。
- かけ算の筆算の下の方が2桁の時、始めるところの下から数字を書き始めることを覚えました。ここで教えてもらった勉強を活かして、テストで良い点を取りたいです。

<4年生>

- 楽しかった。M先生の教え方が分かりやすかった。隣の席のA先生も分かりやすかった。
- 冬休みの宿題が終わって嬉しかったです。楽しく勉強ができて、算数が得意になった気がしました。

<5年生>

- 楽しかったけど疲れた。いろいろな先生に教えてもらえて、割合や平均が少しずつできるようになってきた。これからも算数を頑張っていきたい。
- 三学期にやる『速さ』をやることができたので良かったなと思いました。割合の文章問題ができて嬉しかったです！K先生が優しく教えてくれたので、いろいろできるようになったし、やる気が出てきました！

<6年生>

- T先生の教え方がとても分かりやすく、苦手な所が楽しくできました。
- 魔法陣の問題がすごく難しかったです。比の問題の求め方が分かって楽しかったです。忘れていた公式をもう一度覚えなおすこともできました。問題文をよく読んでから解くことが大切だと思いました。

SP活動記録より

学生最後のわく算でした。最初参加したわく算に比べたら、子どもと接することに大分慣れてきたように思います。片葩小でウィークリーSPもしているので、知っている子どもたちもたくさんいて、子どもたちから話しかけてくれることが嬉しかったです。継続して活動することの大切さを実感しました。また、子どもたちのことを知っているからこそ、算数をしっかり教えることができたと思います。担当したKさんのことも知っていたので、声かけを工夫したり、諦めて泣き出してしまった時も落ち着いて対応したりすることができました。子どもとの接し方をたくさん学ばせていただきました。来年度から現場でも頑張りたいです。

【南山大学 4年】

午前担当した児童は、積極的にいろいろな問題を解いて楽しそうに取り組む様子が見られて良かったです。他の単元や他学年の問題に脱線しがちでしたが、「好きな問題1枚と引き算の問題1枚もやろう！」と提案すると、引き算にもしっかり取り組んでくれたので、良い働きかけができたのではないかと思います。隣の子と話してしまうことが何回かあったので、自分のやることに集中できるようにもっと声をかけられたらよかったと思いました。午後担当した児童は、初めてわく算に参加する子でした。なかなか上手く説明できない部分もありましたが、「楽しかった」「次も参加したい」「もっと算数を頑張りたい」と楽しそうに話して帰ってくれたことがとても嬉しかったです。

【名古屋学芸大学 3年】

今日は子どもたちがやる気に満ちていて、手を休めることなく問題に取り組んでいました。正答率も高く、苦手な問題と得意な問題どちらにおいても、確実に自分の力にしていると感じました。わく算は、自由な雰囲気の中でのびのびと問題に向き合い、自分の足りない所や得意分野に気づくことができるのではないかと感じました。また、前回の反省を活かし、開始時間までに子どもとコミュニケーションを積極的に取り、今日の様子や最近の出来事について話を聞くことができたのは良かったと思います。子どもたちが“楽しい”と思えるような教え方ができるよう、今後に繋げていきたいと思っています。

【愛知大学 3年】

今日は、初めて1対1のわく算を経験しました。1対1となると、1人の子を集中して見てあげることができるので、とても教えやすいと感じました。最初は3つの数の計算から始めましたが、あまり思い通りに解くことができなさそうで、「ゆっくりでいいよ」と声をかけました。すると、指を使いながら着実に解くことができました。いつも私は、プリント1枚を解き→丸つけ→次の1枚を印刷、という流れで進めていましたが、今回の子は一気にプリントが欲しいと言っていたので、一気に印刷しました。一人一人にとって最適な学び方があるのだと実感しました。ウィークリーSPの活動でもこの経験を忘れず、意識して活動したいです。

【愛知淑徳大学 1年】

初めてわく算のSPをしました。とても緊張しましたが、たくさんの児童やSPの方と関わることで嬉しかったです。今日は、1年生を担当しましたが、想像以上に進み具合や習得具合が早く、臨機応変に対応したり活動内容の工夫をしたりすることが大切だと実感しました。予習をすることもあるので、普段の授業のやり方を聞き出してから進めることに努めましたが、なかなか上手くできず、悔しかったです。SP（教師）としての教材研究・準備の重要性を痛感するとともに、この貴重な経験をこれからの学習や活動に活かして行きたいです。

【金城学院大学 3年】

今日は、担当した2人ともとても元気な子で、楽しく会話しながら行いました。2人ともたまにミスをすることはありましたが、基本的に自分の力で解くことができていたので、あまり教えすぎないように見守ることを意識しました。一人は、少し焦ったり、分からないと思い込んだりすることから、「答え全部教えて！」と言ってきましたが、ゆっくり考えれば解けていたので、待つことを意識して良かったです。持参したスタンプを押したり、花丸を書いたりしたらすごく喜んでくれました。楽しく終わることができて良かったです。

【愛知学院大学 4年】

子どもたちが一生懸命取り組んでくれたおかげで、全体的にスムーズに進めることができました。説明に時間がかかってしまう時もありましたが、工夫しながら子どもたちが理解しやすいように教えられるように心がけました。次回は、より分かりやすく説明できるように工夫したいです。

【大同大学 3年】

なかなか集中が続かない子につられて、2人とも同時に遊ぶ方向になってしまうことがあり、対応に悩みました。そこで無理にやらせてしまっ後は続かないだろうと思ったので、子どもたちの話に参加することになりました。すると、どんどんいろいろな話が出てきて、最後には「もう少し頑張る」という言葉を聞くことができ、嬉しく思いました。また、私自身、「やってよかった」という達成感も感じました。ここでの経験を大切に、ウィークリーSP活動にも活かしていきたいです。

【名古屋芸術大学 4年】

午前の部では、児童にたくさん話しかけるうちに、児童の言葉数や笑顔が増えていくのが分かりました。後半には、私がコピーしている間に絵を描いて、「このプリントを解くまでに何の絵か当てて！」とクイズを出してくれました。勉強と両立できる方法でクイズを出してくれたことに感心するとともに、楽しんでくれているようで嬉しかったです。また、午後の部では2人の児童を担当したのですが、1人の児童が離席していろいろなところへ行くことが多かったです。その子に付いていくことで、もう一人の児童をしっかり見るができなかったことが今回の反省です。

【愛知教育大学 3年】

今日は5年生を担当しました。割合の計算をしましたが、なるべく答えを児童自身の力で導くことができるように、公式を使わず図などを使ってさまざまなアプローチを試みましたが、教え方が難しく苦戦しました。どの程度まで説明すると児童のためになるのか、逆にどの程度説明すると児童の発想の妨げになってしまうのか、そのバランスを見極めることは、やはり一朝一夕では身に付かないと強く感じました。本日の活動を通して、また新たに様々なことを児童から教えてもらうことができました。

【名城大学 4年】

今日は1年生を担当しました。昨日は5年生を担当したので、新鮮で、楽しく学ぶことができました。あまり自分からやりたいことを言わない児童だったので、なんとか打ち解けられないかと他愛もない話をしながら接していくようにしました。振り返りを見ると、「簡単だったのでもうすこし難しいところもやりたい」と書いてあったので、もっと挑戦させてあげられたらよかったと反省しました。小学生に教えることの難しさを実感でき、この経験が中高生に教える時にも活かされるのだろうと感じました。

【中京大学 4年】

割合や速さは苦戦することが多いという印象があり、本日担当した児童も苦戦していました。ですが、教えながら学習していくことで、「できそうな気がする」というポジティブな声を聞くことができたので、嬉しかったです。正解かどうかは分かりませんが、子どもの視点やペースに合わせて教えていくことが大切で、今日重要とされている「個別最適な学び」につながるのではないかと改めて感じました。

【中部大学 2年】

午前の子は3年生ながら4年生の問題にチャレンジしていました。解き方を解説すればスラスラと問題を解いていたので、基礎がしっかり整っていたように感じました。ただ、概数はなかなか理解できず、自分の教え方が未熟だったと反省しました。次は分かりやすくかみ砕いて説明できるようにしたいです。午後は、授業内容がちゃんと理解できているのか不安になる子を担当しました。午前の反省を活かして、一つ一つかみ砕いて説明したところ、「分からなかったところが分かった」と言ってくれたので良かったです。

【日本福祉大学 4年】

学習内容を自分の中で理解していても、それを相手に伝えるように言葉にすることができず、反省しました。自分の中だけで分かっている、それだけでは相手に理解してもらえないのだと改めて実感しました。今後は、自分の考えをしっかり相手に伝えられるように言語化できるようにしていきたいです。

【至学館大学 3年】